



2021年2月24日

報道関係者各位

慶應義塾

## 慶應義塾ミュージアム・コモンズ グランド・オープン記念企画 「交景:クロス・スケープ」開催 (4/19~6/18)

慶應義塾の新しい大学ミュージアム「慶應義塾ミュージアム・コモンズ (KeMCo)」が、2021年4月19日(月)より、グランド・オープン記念企画「交景:クロス・スケープ」を開催します。KeMCoは、大学の文化財を相互に結びつけ、それらに関わる人々の交流を生み出すミュージアムです。本企画では、はるか唐の時代から現代にいたるまでの文字文化の展開を名品で辿る「文字景」、慶應義塾所蔵の文化財から、人々のつながりをテーマに選ばれた作品を紹介する「集景」という2つの展覧会(4/19~6/18)と、国際シンポジウム「本景」(5/29)によって、KeMCoが生み出す交流の一端をご紹介します。また、会期中には、さまざまなイベントやワークショップの開催を予定しています。

### 1. グランド・オープンまでの経緯と KeMCo の活動について

慶應義塾では、160年を超える歴史の中で集積された学内の文化財や学術資料を、相互に連携させて活用し保存していくための新たな施設を構想してきましたが、この度、一般財団法人センチュリー文化財団からの資料寄贈と寄付金を基礎に、三田キャンパス東別館に「慶應義塾ミュージアム・コモンズ(略称: KeMCo)」をグランド・オープンする運びとなりました。

KeMCoは、資料を通じた領域横断的な研究・教育活動の発信と、慶應義塾が蓄積してきた先端的なIT技術を駆使した、アナログコンテンツとデジタルコンテンツの融合による新たな展示・収蔵モデルの提案を行っていきます。

### 2. グランド・オープン記念企画「交景:クロス・スケープ (Cross-scape)」

KeMCoは、交流を生み出す新しい大学ミュージアムです。長い時間をかけて慶應義塾に蓄積してきたさまざまな作品や資料——オブジェクトが、KeMCoの展覧会やイベントを通じて出会い、オブジェクトにかかわる人びとが対話することによって、新しい景色が開かれます。グランド・オープン記念企画「交景:クロス・スケープ」では、オブジェクトや人びとが交差するところに現れる景色の一端を「文字景」「集景」の2つの展覧会と、シンポジウム「本景」によって紹介します。

**会 期: 2021年4月19日(月)~6月18日(金)(土日祝は休館)**

**会 場: 慶應義塾大学三田キャンパス東別館**

**開館時間: 午前10時~午後6時**

**入 場: 事前予約制(無料)**

予約方法は3月19日(金)以降のKeMCoウェブサイト(<https://kemco.keio.ac.jp/>)をご覧ください。

**主 催: 慶應義塾ミュージアム・コモンズ、慶應義塾大学附属研究所 斯道文庫**

**詳 細: <https://kemco.keio.ac.jp/>**

会期中には、ギャラリー・トークやワークショップの開催も予定しています。  
 なお、新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じて会期等が変更になることがあります。  
 最新情報は KeMCo ウェブサイト (<https://kemco.keio.ac.jp/>) にてご確認ください。

(1) 「文字景 (Letter-scape)」

— センチュリー赤尾コレクションの名品にみる <sup>ふみ</sup> 文 と <sup>かたち</sup> 象 【**展覧会**】

「漢字」は日本に大陸の文化をもたらし、美しい典籍が編まれました。また「漢字」をもとに作られ、日本の話し言葉をそのままに表す「ひらがな」により、和歌や物語などの日本文学が花開きました。本展では、場所と時代を超えて広がる文字文化の展開を、新しく慶應義塾に寄贈されるセンチュリー赤尾コレクションの名品と義塾に蓄積された資料を通して描き、その背後に広がる景色を探ります。

主な出品作品：

01. 「平螺鈿背六花鏡」唐時代 (7~8 世紀)
02. 「紺紙金字観普賢経 (平基親願経)」治承 4 年 (1180)
03. 伝藤原公任「石山切 (伊勢集)」平安時代後期 (12 世紀)
04. 「西行法師行状絵巻」〔詞書〕烏丸光広 江戸時代前期 (17 世紀)
05. 「三十六歌仙図屏風」近衛信尹賛 江戸時代初期 (17 世紀)
06. 伝後京極良経『源氏物語』「末摘花」鎌倉時代中期 (13 世紀)
07. 『源氏物語』江戸時代初期 (17 世紀)



「紺紙金字観普賢経 (平基親願経)」治承 4 年 (1180)



「三十六歌仙図屏風」 近衛信尹賛 江戸時代初期 (17 世紀)

会 場：慶應義塾大学三田キャンパス東別館 3F ルーム 1・ルーム 2  
 ※会期中に展示箇所の入替えを行います。

## (2) 「集景 (Gathering-scape)」— 集う景色：慶應義塾所蔵文化財より【展覧会】

大学・学校のコレクションは、そこに集う人びとの関係性のなかで紡がれていきます。本展示では、慶應義塾が所蔵する文化財のうち、卒業生の作品や、学内で形成された人的つながりをバックグラウンドにもつ作品を中心にをご紹介します。『慶應義塾名品撰』に掲載された義塾所蔵の名品の一部を、会場でご覧いただく機会ともなります。

主な出品作品：

01. 《女性頭部》紀元前1世紀後半—紀元後1世紀頃
02. 駒井哲郎《丸の内風景》1938年
03. 小山敬三《浅間の夕月》1955年
04. 宇佐美圭司《路上の英雄 No. 3》1967年
05. 大山エンリコイサム《FFIGURATI #314》2020年



《女性頭部》紀元前1世紀後半—紀元後1世紀頃 ©Katsura Muramatsu (Calo works)



大山エンリコイサム《FFIGURATI #314》2020年 ©Katsura Muramatsu (Calo works)

会場：慶應義塾大学三田キャンパス東別館 9F カンファレンス・ルーム、  
8F KeMCo StudI/O(ケムコ・スタジオ)

### (3) 「本景 (Book-scape)」— 書物文化がつくりだす連想の風景【シンポジウム】

書物は、文化財であると同時に文化的実践です。書物が多様なアートのネットワークのなかで生み出す文化的風景、そして新たな視点の提供について多角的に検討します。

**日 時：2021年5月29日(土) 13:00~16:00 (時間変更の可能性あり)**

**場 所：慶應義塾大学三田キャンパス東館6階 G-Lab (Zoom Webinar での配信も行います)**

**参加費：無料 (事前申込み制)**

(申込方法は4月28日(水)以降に KeMCo ウェブサイトでご確認ください。)

**登壇者：クリスチャン・イエンセン (大英図書館前収書・司書部長)**

アレクサンドラ・ギレスビー (トロント大学副学長)

アレクサンドロ・ビアンキ (オクスフォード大学ボドレアン図書館日本司書)

松田 隆美 (慶應義塾ミュージアム・commons 機構長/慶應義塾大学 文学部 教授)

佐々木 孝浩 (慶應義塾大学附属研究所 斯道文庫 教授)

徳永 聡子 (慶應義塾大学 文学部 准教授)

なお、新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じて時間等が変更になることがあります。  
最新情報は KeMCo ウェブサイト (<https://kemco.keio.ac.jp/>) にてご確認ください。

### 3. 施設情報

**住 所：〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45 慶應義塾大学三田キャンパス東別館**  
**(入口は構内側ではなく桜田通沿いになります)**

**交通アクセス：田町駅 (JR 山手線/JR 京浜東北線) 徒歩 8 分**

三田駅 (都営地下鉄浅草線/JR 有楽町線) 徒歩 7 分

赤羽橋駅 (都営地下鉄大江戸線) 徒歩 8 分

**展 示 室：(3F) ルーム 1、ルーム 2、(8F) KeMCo StudI/O、(9F) カンファレンス・ルーム**





4. 関連展示（予定） ※いずれも慶應義塾大学三田キャンパス内です。

- ・(西洋) 文字景－慶應義塾図書館所蔵西洋貴重書にみる書体と活字  
会期：2021年4月14日（水）～5月29日（土）  
会場：図書館展示室（三田キャンパス メディアセンター1階）  
入場：「交景：クロス・スケープ」ご予約の方がご覧いただけます。  
[https://libguides.lib.keio.ac.jp/mit\\_monthly\\_exhibition](https://libguides.lib.keio.ac.jp/mit_monthly_exhibition)
  
- ・Artist Voice I: 河口龍夫  
会期：2021年4月19日（月）～6月18日（金）  
会場：アート・センター（慶應義塾大学アート・スペース（三田キャンパス南別館1階））  
入場：事前予約制（アート・センター ウェブサイトよりご予約ください）  
<http://www.art-c.keio.ac.jp/>
  
- ・慶応四年五月十五日 —— 福澤諭吉、ウェーランド経済書講述の日  
会期：2021年7月5日（月）～9月11日（土）  
会場：福澤諭吉記念慶應義塾史展示館（三田キャンパス 図書館旧館2階）  
入場：新型コロナウイルス感染拡大の状況により予約制とする場合あり  
<https://history.keio.ac.jp/>

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社文化部等に送信させていただいております。

---

本発表資料のお問い合わせ先

慶應義塾広報室（豊田）

TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640

Email：m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>